

Vol.40

2026

2027

10月-1月

# BUN BUN Funabashi.

文化のまちを飛び回ろう！

## 特集

記憶をたどり、未来へつなぐ船橋の文化遺産

企画展「1万年前、船橋に海がきた ～史跡取掛西貝塚からみる縄文の暮らし～」

市所蔵作品展「椿貞雄と西洋」／現代美術作家による作品展 原太一

ふなばし歴史・文化クイズラリー

文化課で発行している図録

## Pick Up!

ふなばし三番瀬環境学習館企画展「三番瀬のシギチ」

市民文化創造館（きららホール）ちょっとよりみちライブ特別講演

第14回船橋のたからもの！船橋の伝統芸能「高根町神明社の神楽」

市内文化施設等のイベント情報誌

# 特集 記憶をたどり、未来へつなぐ

船橋の文化遺産には、遺跡として今に残るものも、失われた後に資料や記録によって受け継がれるものもあります。企画展や図録などを通して、その魅力を紹介します。

## I

### 縄文の文化や歴史を 今に伝える

企画展「1万年前、船橋に海がきた  
～史跡取掛西貝塚からみる縄文の暮らし～」



展覧会詳細

取掛西貝塚は令和8年10月に国史跡指定5周年を迎えます。出土資料から、船橋の1万年前の縄文の暮らしを探ります。11月3日（火・祝）および11月23日（月・祝）には各14時から「取掛西貝塚講座」（40分程度）を行う予定です。

【会期】令和8年10月17日（土）～令和9年1月11日（月・祝）

【会場】飛ノ台史跡公園博物館 1階ギャラリー

【料金】一般110円、小～高校生50円（市内在住の小中学生無料）  
※11月3日（火・祝）、11月23日（月・祝）は無料開放日

## II

### 作品から記憶を辿る

市所蔵作品展「椿貞雄と西洋」／  
現代美術作家による作品展 原 太一



【左】椿貞雄《アンドレ像》1932年、船橋市蔵

【右上】《赤富士図》1940年、船橋市蔵 【右下】旅行鞆 船橋市蔵

生誕130年を記念し、100点以上の作品・資料から、船橋ゆかりの洋画家・椿貞雄（1896-1957）が画業を通じてどのように「西洋美術」、「西洋」と向き合ったのかを紹介する展覧会を開催します。／関連企画として、現代作家・原太一が名画をモチーフに作家へのオマージュや社会への問いを表現した作品約30点を展示します。

【会期】令和8年12月3日（木）～12月21日（月）

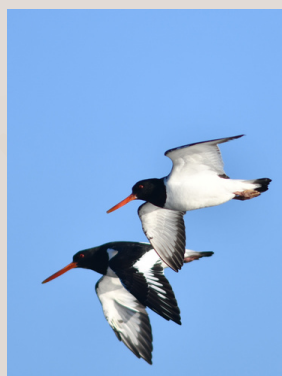
【会場】船橋市民ギャラリー

【料金】無料

展覧会の詳細については、11月15日（日）以降、市HP・バーチャル美術館・広報ふなばし等でお知らせします。

## Pick Up!

ここでは、各施設から「ピックアップ」した一押しのイベントを紹介します。今回、紹介するのは、ふなばし三番瀬環境学習館、市民文化創造館（きららホール）のイベントです。



### ふなばし三番瀬 環境学習館

企画展「三番瀬のシギチ」

【会期】令和8年11月21日（土）  
～令和9年2月23日（火・祝）

【会場】ふなばし三番瀬環境学習館2階

【料金】常設展利用料のみ

三番瀬に飛来するシギ、チドリなどの渡り鳥を、剥製やハンスオン、動画や写真で紹介する企画展示です。

# 船橋の文化遺産

## III

まちを巡って  
文化の足跡を見つける  
ふなばし歴史・文化クイズラリー



【会期】令和8年12月1日（火）～令和9年1月31日（日）  
【会場】西船橋エリア  
【料金】無料

市内の歴史や文化にちなんだスポットを歩いて巡るクイズラリーを開催します。今回の開催地は西船橋駅周辺。普段何気なく通り過ぎていた船橋の歴史や文化に目を向けてみませんか。参加者には限定グッズのプレゼントも。  
※詳細は広報ふなばし12月1日号をご覧ください。

## IV

学びをカタチにしよう  
学びポイント

積み重ねた学びに対しポイントを付与します。講座やイベント等に参加、または郷土資料館や飛ノ台史跡公園博物館などの市内施設に入館し、展示を見るとポイントが付与されます。ポイント数に応じ称号が記載された缶バッジを授与します。10・11月はポイントアップ期間で1ポイントプラスで付与されます。この機会に学びをカタチにしませんか？



## V

記録をひらき、  
未来につなぐ  
文化課で発行している図録



1万年前、船橋に海がきた  
～史跡 取掛西貝塚からみる縄文の暮らし～

【刊行】令和8年10月17日（土）  
【販売場所】文化課・飛ノ台史跡公園博物館ほか  
【料金】1,000円（税込）

約1万年前、豊かな海と自然に囲まれて暮らした縄文人。その暮らしを今に伝える取掛西貝塚の魅力を豊富な写真や図とともに紹介します。発掘調査で明らかになった遺跡の様子や出土遺物についてわかりやすく解説し、縄文人の暮らしや自然との関わりに触れられる1冊です。

## 市民文化創造館（きららホール）

ちょっとよりみちライブ特別公演  
第14回船橋のたからもの！船橋の郷土芸能「高根町神明社の神楽」

【日時】令和8年10月3日（土）午後2時30分開場・午後3時開演（75分程度）  
【会場】市民文化創造館（きららホール）  
【料金】無料（申込不要／当日先着250名）  
※定員を超えて入場することはできません。



船橋が誇る郷土芸能「神楽」を解説付きでお届けします。神楽は神様に奉納する歌舞で、市内5つの神社に伝わる里神楽は県内でも珍しく、船橋の文化の特徴です。高根町神明社の神楽は明治初期から受け継がれ、太鼓や笛の音色に五穀豊穡と村の安全を願う人々の思いが息づいています。地元でしか出会えない貴重な神楽を、ぜひこの機会にご覧いただき、豊かな響きに心を包まれるひとときをお楽しみください。

令和8年 令和9年  
10月～1月までのイベント

詳細や休館日は各施設二次元コードよりご確認ください。**⑨**は有料イベントです。

市民文化創造館  
(きららホール)

9:00～20:00  
土日祝は17:00まで  
047-423-7261



休館日：  
毎月最終月曜日

11/7(土)、8(日) 総合舞台芸術創造プロジェクト2026



ミュージカル劇  
『月、ロープ、インク、  
塩。ハンスと旅の支度』  
～アンデルセンの言葉と  
作品たち～**⑨**

公募による参加者がアンデルセン童話をテーマにしたミュージカル劇をお届けします。



12/5(土)

令和8年度県民芸術劇場公演  
オーボエと千葉交響楽団  
メンバーによる弦楽四重奏  
～クラシックの名曲からシネ  
マ・ミュージックまで～**⑨**

千葉県内唯一のプロのオーケストラである千葉交響楽団を中心としたメンバーが、クラシックの名曲と映画音楽をお届けします。

飛ノ台史跡公園  
博物館

9:00～17:00  
最終入館 16:30  
047-495-1325



休館日：  
月曜日、祝日の翌日  
(土・日を除く)、  
年末年始(12/28～  
1/4)

10/3(土)～11/8(日) **⑨**

「船橋市の縄文時代にまつわる  
絵画コンテスト」入賞作品展示

「縄文時代の食べ物」をテーマに、小学生が描いた絵画を館内にて展示します。

12/4(金)、17(木)

とびはく探訪会 **⑨**

全館の展示解説会を行い、より多くの方にとびはくの魅力を味わっていただく展示解説ツアーです。

西図書館

047-431-4385



「クマタカ」 荻内正幸美術館所蔵

10/10(土)～12/9(水)

ギャラリー展示

「動物画家 荻内正幸の世界」

リニューアル10周年記念事業として、絵本から広告まで幅広く活躍した動物画家、荻内正幸氏の原画展を行います。ぜひ、動物たちに会いに来てください。

ふなばしアンデルセン公園  
子ども美術館

047-457-6661



開催中～11/8(日)

アンデルセン公園開園30周年記念  
特別企画展「アンデルセン童話を  
旅しよう！」**⑨**

数々の名作童話を生んだH.C.アンデルセンの「旅」と「空想」に光をあて、広く知られている8つの物語を15人のアーティストがそれぞれの解釈と自由な表現で描いた作品を展示します。



ふなばし三番瀬環境学習館 047-435-7711

10/31(土)

おかしなお菓子作り・ハロウィン

「かぼちゃでインギンチャクパフェ」**⑨**



ハロウィンには欠かせないかぼちゃをつかって、インギンチャクをイメージしたかわいなお手軽パフェを作ろう。

市民ギャラリー

047-420-2111



11/14(土)～11/29(日)

アンデルセン公園開園30周年記念  
「アンデルセンと子ども美術館展」

アンデルセン公園子ども美術館が所蔵しているH.C.アンデルセンにまつわる作品を展示します。11月21日(土)にはワークショップを開催します。



お知らせ

BUNBUN Funabashi.は  
次号41号が最終号となります！

令和元年に創刊し、市民のみならず広くご愛読頂きましたBUNBUN Funabashi.は令和9年1月発行の41号で終了となります。以降は、新たに開設されるホームページから、市の文化情報を発信していきます。詳細は最終号のBUNBUNでご案内いたします。



WEB版  
BUNBUN Funabashi.

令和8年10月1日発行  
船橋市文化振興推進協議会